

令和5年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮別所小学校】

⑥ 次年度への課題と改善策	
知識・技能	ICTを活用し、児童データを収集・活用し、児童に応じた指導ができるようにしていきたい。指導と評価の一体化を図ることにより、個に応じた指導を充実させていきたい。令和6年度のさいたま市学習状況調査で検証を行いたい。
思考・判断・表現	各教科の授業で、根拠資料を基に、自己の考えをまとめる活動を引き続き行っていきたい。算数科においては令和4年度を上回るものがあつたので今年度の指導を継続的にいき、国語科においては教科横断的な視点を持ち、根拠と結び付けて自分の考えを表現できるようより重点的に指導を行っていきたい。
主体的に学習に取り組む態度	学習に取り組む態度に関しては、令和5年度肯定的な回答が令和4年度を上回る項目が多かった。児童の学びに対する意欲を大切に、より主体的に学習に向かう児童を増やしていけるようにしたい。

① 目標・策		
	目標	策
知識・技能	令和5年度全国学力学習状況調査の振り返りを行い、事前実施した令和4年度市学習状況調査結果と比べることで、自校の課題を見つけ1月に行われる市学習状況調査において「知識・技能」の項目で令和4年度を上回る。	⇒ 自らの課題解決のために立てた学習計画をもとに「ドリルパーク」や「スタディサプリ」等に取り組みせ、個別の学習シートを活用し反復・習熟に取り組む。
思考・判断・表現	令和5年度全国学力学習状況調査の振り返りを行い事前実施した令和4年度市学習状況調査結果と比べることで、自分の課題を見つけ1月に行われる市学習状況調査において「思考・判断・表現」の項目で令和4年度を上回る。	⇒ ICT機器の効果的な活用を推進し、個別の学習シートを活用し、個に応じた指導を拡充させ活動や作品を評価することで、児童のやる気を向上・持続させる。
主体的に学習に取り組む態度	振り返りから自らの課題を見つけ出し学習に取り組むことで「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の質問項目で、肯定的な回答の割合が85%以上にする。	⇒ 個々の児童の課題について把握し、課題解決の見通しを持たせ、自力解決の方法を設定させる。授業中に振り返りの時間を設け、問題解決の意識を持続・定着させる。

<小6・中3>(4月~5月)

⑤ 目標・策の達成状況		評価(※)
知識・技能	令和4年度を上回ることを目標として設定したが、どの学年・教科においても令和4年度を下回った。	C
思考・判断・表現	令和4年度を上回ることを目標として設定したが、下回る学年、教科が多く見られた。	C
主体的に学習に取り組む態度	「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」の質問項目で目標の85%以上の肯定的な回答が得られた。どの教科においても自分でしっかり考えることができたことによる成果と考えられる。	A

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

② 全国学力・学習状況調査結果・分析(4月)	
知識・技能	国語科は全国平均を【内容(1)、内容(2)】で上回った。設問3二の会話の内容を読みとり、内容にあった選択肢を選ぶ問題が正答率が低く課題が見られた。算数科は全国平均を上回った。
思考・判断・表現	国語科は全国平均を【内容A、内容B、内容C】で上回った。算数科は全国平均を上回った。図形領域で正答率が低く、特に面積の大小を比較し、また解答理由を答える問題(2(4))において正答率が低く課題が見られる。
主体的に学習に取り組む態度	国語、算数科とも無回答率は低くねばり強く問題に取り組む姿勢が見られる。ただし国語科の3二(記述)3三(敬語に関する知識)、算数科の4(3)(記述)が全校平均を大きく上回る無回答率となっており課題が見られる。

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)

④ さいたま市学習状況調査結果・分析 ※令和5年度のさいたま市学習状況調査は参考値扱いとなります。			
小3	国語科、算数科において令和4年度を下回った。国語科においては「我が国の文化に関する事項」では令和4年度を上回ったがそれ以外の領域においては下回った。算数科においては「図形」の領域で令和4年度を上回ったが、それ以外の領域、観点では下回った。	小4	国語科、算数科において令和4年度を下回るものが多かった。国語科においては「言葉の特徴や使い方に関する事項」で令和4年度を上回った。算数科においては、「数と計算」の領域、「知識・技能」の観点で令和4年度を上回った。下回ったものに関しては差は小さかった。
小5	国語、算数、社会、理科で令和4年度を下回った。国語、理科において令和4年度との差が大きい。国語「知識・技能」、理科「思考判断表現」の観点で特に差が大きく見られた。	小6	国語、算数、社会、理科で令和4年度を下回ったが、その差はわずかであった。

③ 中間期見直し(全国学力・学習状況調査結果分析後)		
	目標	策
知識・技能	変更なし	⇒ 変更なし
思考・判断・表現	変更なし	⇒ ①に追加 また、自己の考えを表現できるよう、授業において、書く活動、伝え合う活動を積極的に設定するようにする。
主体的に学習に取り組む態度	変更なし	⇒ ①に追加 また、自己の考えに自信をもって表現することが出来るよう、伝え合いの場や、書く活動をより多く設定する。